

水産



農林水産部 水産漁港課
調整・振興班
技師 柳原 陽

経歴：採用2年目

H31年 入庁
農林水産部 水産漁港課
調整・振興班

ある日のスケジュール

- 8:00 出勤(電車・バス)
- 8:30 朝礼、メールチェック、
当日のスケジュール確認
- 9:00 補助金申請の事務処理、
調査・照会等への対応
- 10:00 打合せ
- 11:00 資料作成
- 12:00 昼食
- 13:00 公用車で現場へ移動
- 14:00 蓄養殖試験の状況確認、
魚のサンプリング・測定
- 16:30 帰庁
- 16:45 現場確認の結果を記録
- 17:00 メールチェック、
翌日のスケジュール確認
- 17:30 退庁
- 18:30 帰宅
- 19:00 ジョギング
- 19:30 夕食
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

水産漁港課は、秋田の水産業の振興と水産資源の持続的な利用を図ることを目的とした部署です。

漁業者の支援、担い手の育成、水産物の消費拡大に向けた取組を行う「調整・振興班」、漁港施設の維持・強化を図るための工事等を行う「漁港漁村整備班」、漁業調整や漁業取締を行う「漁業管理班」の3班で構成されており、約20名の職員が在籍しています。職場は明るくアットホームな雰囲気、先輩方は適切なアドバイスや指導をしてくださるため、若手職員も安心して仕事に取り組むことができます。

わたしは今、こんな仕事をしています

「調整・振興班」に所属し、漁港内を活用した魚の蓄養殖試験や”つくり育てる漁業”の推進のため関係機関との調整等の業務を行っています。蓄養殖試験では、魚の高付加価値化の一環として、夏場に大量に漁獲され単価が安い小型のブリなどを一定期間イケスで育て、身質の改善や出荷調整が魚価向上にどの程度結びつくか、という実証試験を行っています。

本庁での勤務と聞くと、常に机に向かって仕事をしているイメージがあるかもしれませんが、担当する事業によっては、私のように現場に出て仕事をするのも珍しくありません。

秋田県のここが好き！

お酒、農産物、魚介類などおいしい食べ物がたくさんあるところです。中でも、秋田県で獲れる魚介類はバラエティーに富んでおり、季節ごとに様々な魚介類を楽しむことができるためオススメです！

水産職のやりがい(楽しさ)はここ！

水産業は、全体を見ることができない天然の資源に依存するところが大きく、海洋環境の変化等により、その年の漁獲量が大きく変動する点が、他の産業と大きく異なっています。そのため、資源の維持・増大を目指す“つくり育てる漁業”に関する事業等については、すぐに結果が現れてこないため、長期的なビジョンを持って取り組んでいく必要があります。

今行っている仕事の積み重ねが、今後の水産資源の維持・増大、ひいては秋田県水産業の将来を創っていくことに繋がるため、責任を感じると同時にやりがいも感じています。

オフは何をしていますか？

休日は、職場の先輩方と男鹿へ船釣りに行ったり、友達とドライブをして四季折々の景色を見に行ったりしています。このようなことができるのも自然豊かな秋田県ならではの楽しみです。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

教養試験については、1冊の参考書を繰り返し解き、特に数的処理の分野を重点的に勉強しました。専門試験については、水産ハンドブックの内容を覚えることを目標に、分野ごとの要点をノートにまとめて自分なりの参考書を作成しながら学習を進めました。試験の3か月前からは、国家公務員試験の過去問題を解き、より実戦に近い形式で対策を行いました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田が大好きな方、秋田をより良くしたい方、ぜひ秋田県水産業を盛り上げるために一緒に働きましょう！

水産



農林水産部 水産漁港課
漁業管理班
技師 佐藤 滉平

経歴：採用3年目

H30年 入庁
農林水産部 水産漁港課
漁業管理班
H26～29年 民間企業勤務

ある日のスケジュール

8:15 出勤
8:30 朝礼、スケジュール確認
8:45 メールチェック
9:00 事務処理、資料作成等
10:00 関係機関と打合せ
12:00 昼食
13:00 委託事業確認のため
現地視察へ
15:30 帰庁
出張の成果まとめ、事務処理
16:45 翌日のスケジュール確認
17:00 メールチェック
17:15 退庁
17:45 子供のお迎え(幼稚園)
18:30 帰宅、夕食
20:00 家事・育児・風呂
21:00 風呂上がりの一杯
22:00 就寝

わたしの職場はこんなところですよ

水産漁港課は、秋田の水産業の振興と水産資源の持続的な利用を図ることを目的とした部署です。

漁業者の支援、担い手の育成、水産物の消費拡大に向けた取組を行う「調整・振興班」と、漁港施設の機能の維持・強化を図るための工事等を行う「漁港漁村整備班」、漁業調整や漁業取締を行う「漁業管理班」の3班で構成されています。

秋田の漁業振興のため、課一丸となり日々黙々と業務に励んでいますが、課内の雰囲気は明るく、楽しく、前向きです。

わたしは今、こんな仕事をしています

「漁業管理班」に所属し、漁業の許可、漁業の秩序を維持するための調整、水産資源を持続的に利用するための資源管理対策事業、違反漁業等に対する取締指導巡回などを実施しています。資源管理対策事業では、近年減少傾向にある「県の魚ハタハタ」の資源量を回復させるため、資源管理手法の提案や漁業者が実施するふ化放流の取組に対する支援等を行っています。将来に渡って秋田の美味しい魚を食べるために、どのようにして資源を守っていくべきかを考えながら業務に取り組んでいます。

秋田県のここが好き！

同じ秋田県内でも各地で異なった文化があり、同じ料理であっても違った食材や味付けが楽しめるのが魅力です。

また、都会に比べると生活に圧迫感がないので、ふらっと散歩に出かけた時も、ゆっくりとした時間が過ごせるのも秋田の良いところだと感じます。

水産職のやりがい(楽しさ)はここ！

県内で漁獲される美味しそうな水産物を目にする機会が多く、それがどのようにして漁業者に漁獲され、消費者の元へと流通していくのかが良く分かり、食べたときにそのストーリーを感じながら美味しくいただくことができます。

また、時には食べたことのない美味しい魚介類に出会う機会もあり、これらの美味なる水産物を未来に残していくための仕事ができることにやりがいを感じます。

これまでで特に印象に残っている出来事がありますか？

これまで食わず嫌いで食べるのを避けてきた魚介類も、仕事をすることで実は絶品だと判明したものや、漁獲方法などを知り、漁業者が大変な苦勞をして獲った魚だと理解し、これまで以上に味わって食事をするようになりました。

オフは何をしていますか？

休日は家族で県内旅行に出かけ、各地の美味しい料理を食べ回っています。

各道の駅でつまみ食いをし、予めリサーチ済みの飲食店で目的の料理を食べて、帰宅後は旅行先で購入した珍しい食材で作った料理を食べながらお酒を飲むのが最高です。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

秋田のことを大事に考えている人は、きっと前向きな良い仕事ができると思いますので、ぜひ志望してみてください。